

いろいろなよみ方があるかん字

名まえ

かん字

e-1 解

一 次の「生」と「下」の二つのかん字はいくつもよみ方があります。――の部分の正しいよみ方を（ ）にかきましよう。

(せい) (は) (か) (げ)

・一年生 | ・生える | ・ろう下 | ・上下

生

(しょう) (い) (した) (しも)

・一生 | ・生きる | ・木の下 | ・川下

下

(う) (なま) (さ) (くだ)

・生まれる | ・生クリーム | ・ね下げ | ・川下り

二 次の文の――によみ方をかきましよう。

① **金**づちでちよ**金箱**をわって**お金**を出して、プレゼント
トをかいました。

② **花**びんに梅の**花**をさしました。

③ ポケットに**円**いものが入っていました。それは**百円**
玉でした。

とくべつなよみ方をするかん字

名まえ

かん字

e-2 解

かん字には、とくべつな読み方よをするものかたがいくつもあるよ。

一 ―― の日づけのよみ方を()に書きましょう。

(ついたち)

(いつか)

(ここのか)

① 一月一日

⑤ 五月五日

⑨ 九月九日

(ふつか)

(むいか)

(とおか)

② 二月二日

⑥ 六月六日

⑩ 十月十日

(みつか)

(なのか)

(はつか)

③ 三月三日

⑦ 七月七日

⑪ 一月二十日

(よつか)

(ようか)

④ 四月四日

⑧ 八月八日

二 ―― のかん字のよみ方を()に書きましょう。

(たなばた)

(おとな)

(じょうず・うわて)

① 七夕

② 大人

③ 上手

(やおや)

(むかで)

④ 八百屋や

⑤ 百足



にているかん字①

名まえ

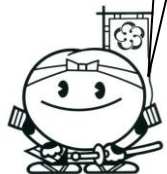
かん字

e-3 解

かん字には、形がにているかん字がいくつもあるよ。
書きじゆんに気をつけて書こうね。

① 次の□の中に「し」と「みぎ」をかん字で書きましょう。

また、一画目に書くところに㊦を付けましょう。



(例)

左

(ひだり)

①

石

(いし)

②

右

(みぎ)

② 次の□に入るかん字を書きましょう。

① ズボンに

千

円札と

十

円玉が入っています

た。

② 御幸の浜で

貝

を

見

つけました。

③ 学

校であたらしい

字

を学びました。

④

木

かげで

本

をよみました。

にているかん字②

名まえ

かん字

e-4 解

① 次の□の中に入るかん字をかきましよう。

① 王 おう さまのたからものは、ひかる 玉 たま である。

② 入 い り口にたくさん 人 ひと があつまっている。

③ 青 あお 色 いろ と 赤 あか 色 いろ の絵 え のぐをまぜたら、
むらさき色 いろ になりました。

② 次の□に入るかん字をいれて文をかんせいさせましよう。

① 下曾我小学 しもそがしょうがっ 校 こう のまわりには、梅 ばい 林 りん が
あります。

② 土 つち の 上 うえ で 白 しろ い 大 おお きな

犬 いぬ が、 日 ひ なたぼっこをしています。

おなじよみ方をするかん字

名まえ

かん字
e-5 解

次の□の中には同じよみ方をするかん字が入ります。意味に合
せて正しいかん字をかきましよう。

① 「きゅう」

九

本の花。

② 「せん」

千

円をもらう。

③ 「ひ」

朝日

あさ

を見る。

休

けいする。

先

生とはなす。

火

がもえる。

④ 「ちゅう」

中

学生になる。

⑤ 「けん」

見

学する。

昆虫

をつかまえる。

犬

けいさつ

⑥ 「ゆう」

夕

きれいな日。

⑦ 「せき」

石

化をみつけた。

右

左をかくにんする。

赤

はんを食べる。